

# PLAYERS INTERVIEW

教員バスケ大会でフロアキーパーを務めた

鈴木脩斗さん・阿部航大さん 一関工高・1年

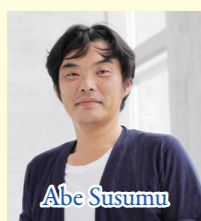


選手がけがをしないよう、一生懸命仕事をしました。バスケの魅力は、攻めと守りの速い展開。レベルの高い試合を間近で見れてよかったです。試合を見ながら、いろいろと勉強していきたい。

息子・晴空くん(フェンシング岩手少年男子チーム)を応援

阿部晋さん 巖美町・43歳

今年のインターハイで8強入り。やっと勝てるようになってきました。小学1年からフェンシングを始め、中学では部活との両立で大変だったと思う。高校卒業まであと1年。一生懸命頑張ってください。



クラブカップバレー大会の応援に駆け付けた

森下華恋さん 盛岡市立乙部中バレー部主将・2年



いつも私たちが指導してくれる皆さんに、精一杯声援を送りました。社会人の試合を見るのは初めて。一つ一つのプレーが力強かったです。新人戦も間近です。県大会優勝を目指して頑張ります。

クラブカップバレー大会で2回目の優勝を飾った

飯田あゆみさん CLUB EHIME 主将・26歳

昨年は決勝で敗れたので素直にうれしいです。最終セットは、みんなの気持ちが一つになりました。運営もスムーズで、市民の皆さんの応援も力になり、温かさを感じました。



全国中学校バスケットボール大会で初優勝した

小玉大智さん 東京都実践学園中バスケ部主将・3年



—昨年は3位、昨年は2位と、この2年間悔しい思いをしてきました。今年は、念願の優勝。とてもうれしいです。僅差の勝負でしたが、仲間を信じてつかんだ勝利。岩手でいい思い出ができました。



# 流した汗は報われる

Remembering the heated battles of this summer.

## 写真で振り返る2015年、一関の熱い夏

今年の夏、一関では希望郷いわて国体開催に向けた大会が目白押しだった。全国屈指の強豪が集ったハイレベルな攻防は、見るものを魅了した。



育館を主会場に実施。萩荘中女子バスケットボール部を含む、全国9ブロックから男女各24チームが、全国ナンバーワンの座を争った。同大会は中学校の部活動の集大成。男子の決勝戦は、1点を争う大激戦になった。手に汗握る、目を離せない試合展開に、会場のボルテージは最高潮だった。

希望郷いわて国体開催に向けた大会が目白押しだった今年。ハイレベルな戦いが、会場の視線を釘づけにした。

8月22日～25日の4日間行われた「第45回全国中学校バスケットボール大会」は、市総合体育館を兼ねた「第42回東北総合体育大会フェンシング競技」は、8月21日～23日の3日間、東山総合体育館を会場に開かれた。東北各県の成年男女、少年男女の部、24チーム84人が国体出場権を争い、熱い戦いを繰り広げた。

1年後に迫った国体に向け、運営方法や競技会場の準備などを確認するため、それぞれの大会が行われた。

クラブチームの日本一を決める「第35回全日本6人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会」は、7月30日～8月2日の4日間、市総合体育館などで開かれた。56チームが参加し、いずれの試合もハイレベルなプレーが続出。選手たちの迫力と好プレーに会場を訪れた人たちは、盛んに声援を送った。

8月8日～10日の3日間、市総合体育館と東山総合体育館などで行われた「第53回男子全日本教員バスケットボール選手権大会」には、北は北海道、南は熊本県から34チームが出場。全国の頂点を争った。

国体の予選を兼ねた「第42回東北総合体育大会フェンシング競技」は、8月21日～23日の3日間、東山総合体育館を会場に開かれた。東北各県の成年男女、少年男女の部、24チーム84人が国体出場権を争い、熱い戦いを繰り広げた。

1～4.9.13.15.17\_ 中学日本一を争った全国中学校バスケットボール大会 / 5.6.12.16.18.21\_ クラブチーム王者を決める全日本女子バレーボールクラブカップ選手権大会 / 7.8.11.20\_ 国体出場を懸けた東北総合体育大会フェンシング競技 / 14\_ 国体出場を決めた市内在住・出身選手で構成したフェンシング成年女子チーム / 10.19.22\_ 国体リハーサル大会として行われた全日本教員バスケットボール選手権大会

## 流した汗は力に変わり、悔し涙は次への糧に

